

多摩川遡上の旅第三弾

是政橋から多摩大橋まで16キロ歩く

記録者 根岸 雅明

メンバー 西山孝、小倉幹子、根岸雅明

2020年11月28日

2020.11.29

多摩川遡上の旅 138 キロの第三弾

是政橋から多摩大橋まで歩く

【概要】 昨年（2019 年）から始めた多摩川の河口から源流の笠取山まで歩く計画のうち、今回は第三弾の遡上です。

南多摩駅に仲間と集合して東京側の左岸の堤防を是政橋から多摩大橋まで約 16 キロを歩く。川幅は多摩大橋で約 450m ほどです。この首都圏でのこの多摩川の大空間には風が流れ、自然がいっぱいでした。

上流には奥多摩の山々、西には丹沢山塊、そして雲に覆われた富士山。多摩丘陵の斜面に切り開かれた住宅地。河川敷では子供たちの野球の姿。川辺ではシラサギ、カワウ、蝶、ススキ原、柳などを観察。堤防の散策の人々やマラソン、猛烈なスピードで走り抜けるロードバイクなど 360 度の景色を見ながら歩きました。

ランチタイムには西山さんの手作りのロールキャベツをコンロで温めて、持参のお結びをほおばりました。ロールキャベツはトマト味でチーズがきいてとても美味しかったです。食後にはコーヒーと小倉さんからのどら焼きをいただき満腹。

自然を歩くといろいろなことに気づき、発見があり面白いですね。特に帰り道の昭島の中神駅に向かう途中の歩道のマンホールにはクジラの絵が描かれていました。西山さんが言うのはこの地でクジラの化石が発見されたそうです。町を歩いているといろいろな場所にこのクジラの名前を使った冠の看板がありました。クジラ葬儀社というのもありました。

多摩大橋は河口から 43 キロ地点です。138 キロのうち 100 キロを切って約 30% というところですか。これからさらに上流にはどんな気づきや発見があるか楽しみです。一緒に歩いた仲間。お疲れ様でした。そして大いに楽しみました。

【日付】 2020 年 11 月 28 日（土）晴れ

【目的】 是政橋から多摩大橋まで 16 キロを歩く。

【メンバー】 西山孝、小倉幹子、根岸雅明

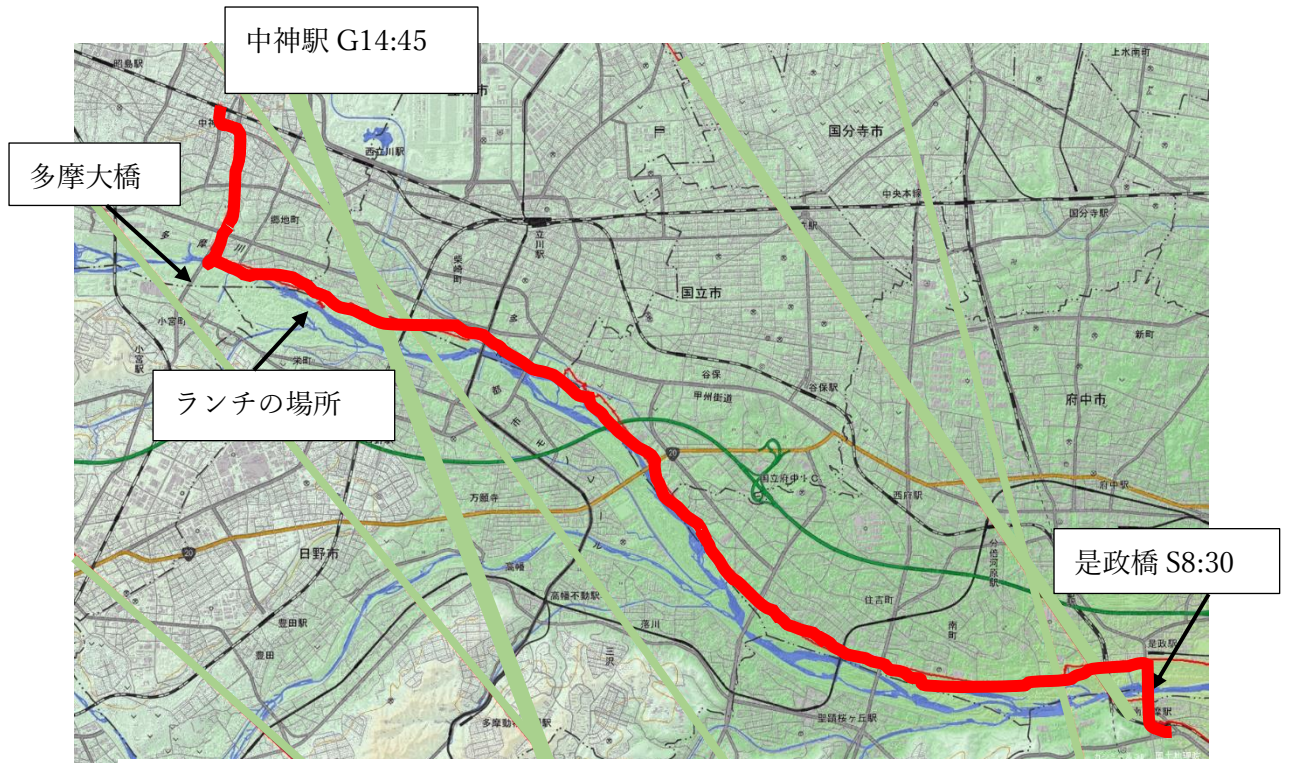
【費用】 交通費@561+@814=1375

【コース概要】 阪東橋 7:17→横浜 7:30→8:19 南多摩 S8:30…是政橋…多摩大橋…13:45 中神駅 G

中神駅 14:48→立川→武蔵小杉 15:56→横浜→16:22 阪東橋

【歩行距離】 ガーミンデータ 16 キロ。ヤママップデータ 16.5 キロ。1 日の歩数 27,800 歩（スマホデータ）

【地図】



カシミールの地図よりガーミンの歩いたデータをダウンロード

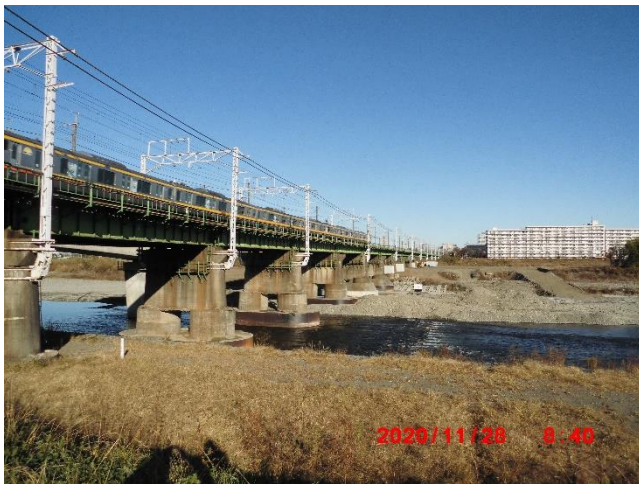
【写真】



南武線南多摩駅 8時半集合。スタート。



是政橋上流の右岸側の南武線と貨物線の橋梁箇所まで歩く。



南武線と貨物線が通過するところ。



左側が南武線。右側が貨物線。



是政橋まで戻り橋を渡り多摩川の左岸側を多摩大橋まで歩く。



河川敷では子供たちが野球をやっていました。上流にもたくさんの野球、サッカーのグラウンドがありました。



東京側の左岸側の堤防の付近には沢山の公園が整備されている。右岸側とかなり違うなと思った。郷土の森付近を歩く。



時折猛スピードでロードバイクが走り抜けていく。注意していないと結構危険。
看板には自転車は真ん中。歩行者は右側とかいてありました。



河口より 33 キロ地点。



読売新聞



多摩市方面を望む。多摩ニュータウンはこの多摩丘陵を削ってできた街。



関戸橋を望む。見えるビル群は聖蹟桜ヶ丘付近。



この関戸橋は旧鎌倉街道で今は多摩ニュータウンへ至る道です。(ネットより参照)



中河原渡しの碑がありました。
昭和12年(1937年)に橋が架けられ、中河原村(府中市側)と関戸村(多摩市側)の間にそれまでの間、渡しがあったそうです。



キューピーマヨネーズの工場がありました。



関戸橋を過ぎると京王線の橋梁が見えます。向こうのビル群は聖跡桜ヶ丘方面。多摩川の河口から35キロ地点です。



堤防から河川敷を歩く。



冬の蝶。名前は？後日、西山さんから名前を教えてくださいツマグロヒョウモン



多摩川の河川敷にはこのような柳の木がたくさんあります。



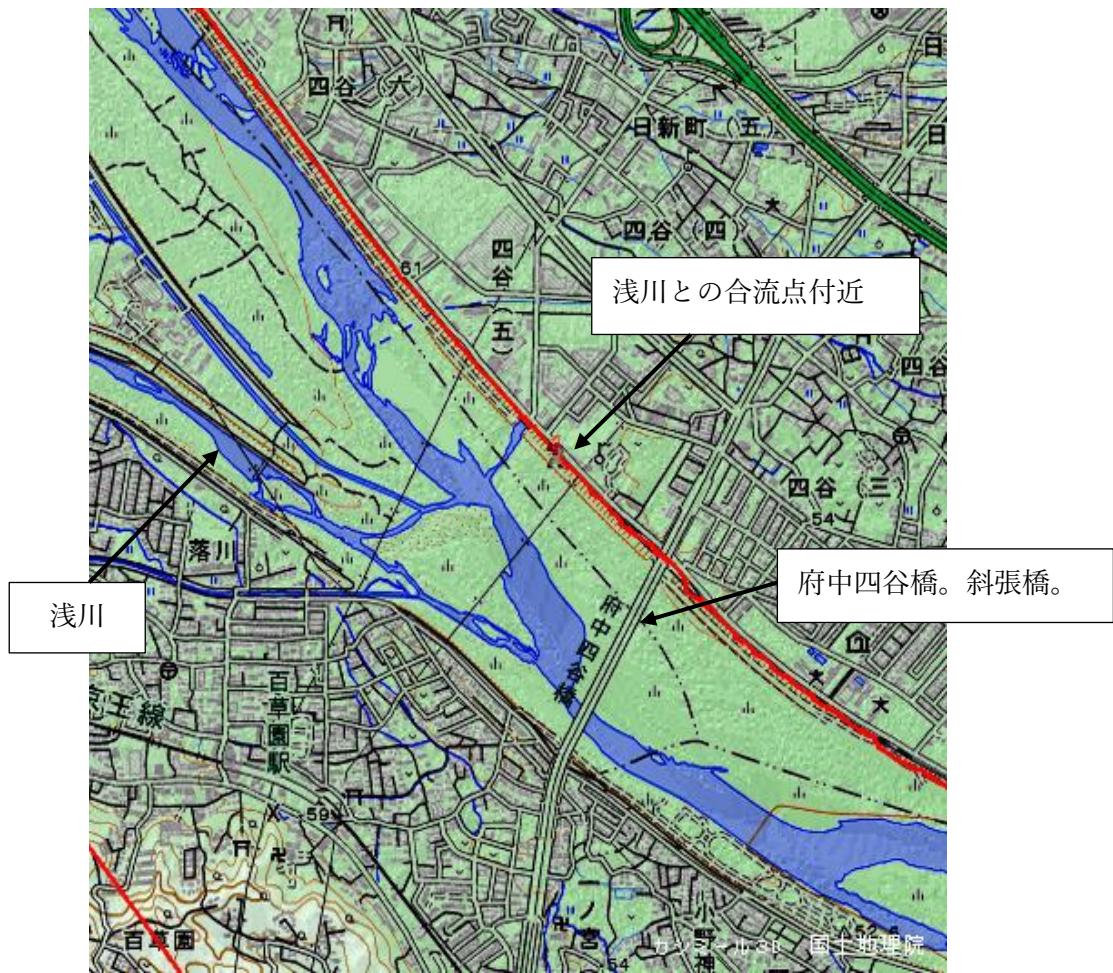
河川敷の藪と藪の間が所々一定の間隔でこのように切り払われています。防火帯なのだろうか。



府中四谷橋。440m の斜張橋。右の府中市から左の八王子市方面を経て相模原市に至る。



浅川との合流点付近





石田大橋。国道 20 号のバイパス道路。日野市と府中市、国立市が結ばれて、左の八王子方面から右の中央道のインターに結ばれたとのこと。(ネット参照)



雲取山は大岳山の背後になり見えない。



案内板の通り風の道であると思った。冷たい風が吹いていました。



石田橋。シンプルできれいな橋だ。



富士山が雲にかかって見えない。手前にある山は。道志山塊の御正体山か。



中央高速道路の橋梁が見えてきた。





シラサギとカワウが飛び立った様子。多摩川は意外と自然がいっぱいでした。



中央道のたもとから奥多摩の山々を望む。





そばに伊藤単朴の墓の碑がありました。江戸時代中期の談義作者とかいてありました。談義作者とは。風刺、滑稽を表した書と記されていました。（ネット調べ）



貝殻坂付近。この辺りは昔、貝殻が出たのでこの地名が名付けられたとのこと。昔は海だったのだと思われそうですね。



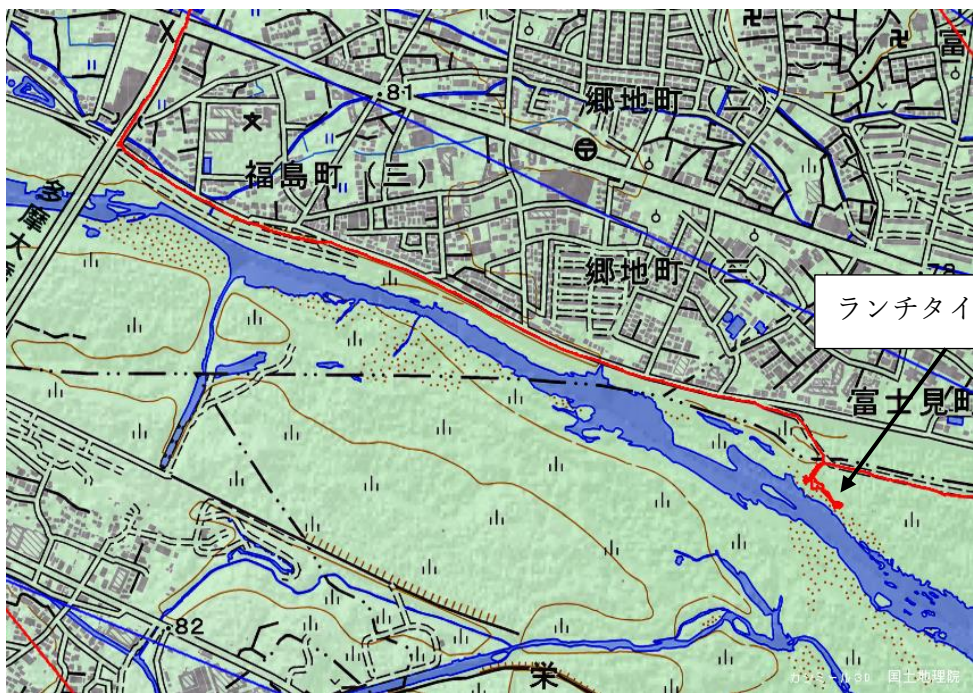
日野橋。日野市と立川市を結ぶ橋、架け替え工事が始まっていました。



モノレールと立日橋。



中央本線が見えてきた。河口から41.2キロ地点。







多摩大橋



河口から 43 キロ地点



陽も傾き始めました。ここが多摩大橋から中神駅に向かいました。



歩道のマンホールにはクジラのデザインがありました。200 万年前のクジラの化石がこの昭島で発見されたそうです。



街路樹の赤い実。ハナミズキの実なのだろうか。



庭木に柚子の実もなっていました。



ようやく中神駅にゴール。お疲れさまでした。この 16 キロ、6 時間の旅はいろいろな発見がありとても興味深く面白いものでした。

案内をしていただいた西山さんに感謝です。小倉さんとも楽しくおしゃべりしながらの歩きでした。

また次回が楽しみになりました。

ありがとうございました。